



2022年12月期 連結決算報告、 中期経営計画の概要

2023年2月14日
クリエイトメディック株式会社
代表取締役社長 佐藤 正浩

- 当社グループでは、コロナ禍の営業戦略、重点分野の新製品開発、MDRのライセンス維持に注力

国内市場

- 新型コロナウイルス感染症
 - ・断続的な変異株の感染拡大も、ワクチン接種の整備により医療体制は回復へ
- 製品の安全性
 - ・生物学的安全性試験、植込み型医療機器等のMRI安全性評価など、安全性の規制強化
- サステナビリティ、環境対策
 - ・エチレンオキサイド排出削減の強化

海外市場

- 新型コロナウイルス感染症
 - ・中国はゼロコロナ政策が解除、感染者数が急拡大
 - ・欧州は日本同様に回復基調
- ロシア、ウクライナの侵攻
 - ・ウクライナ情勢は未だ収束の見通しが立たず
 - ・欧米の金融政策による急激な円安
 - ・原油価格や物価が高騰
- その他
 - ・中国の政府主導による入札制度「共同購買」、医療機器の輸入品を国産化に切替える政策
 - ・欧州は医療機器器規則（MDR）により安全性の強化

営業成績



- 売上高は、全ての販売形態（自社販売、海外販売、OEM販売）が増加となり増収確保
- 利益面では、売上原価が原材料や物流コストの高騰、販管費の情報関連投資の償却費負担により、営業利益、経常利益、当期純利益が減益

	2021		2022		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	11,698	—	12,257	—	558	+4.8%
売上原価	6,438	55.0%	6,882	56.2%	444	+6.9%
売上総利益	5,260	45.0%	5,374	43.8%	114	+2.2%
販管費	4,393	37.6%	4,636	37.8%	243	+5.5%
営業利益	866	7.4%	737	6.0%	△129	△14.9%
経常利益	1,009	8.6%	809	6.6%	△200	△19.9%
当期純利益	660	5.6%	460	3.8%	△199	△30.2%

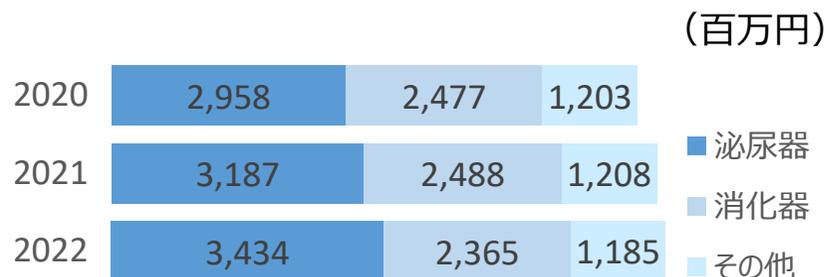
売上推移（販売形態別）



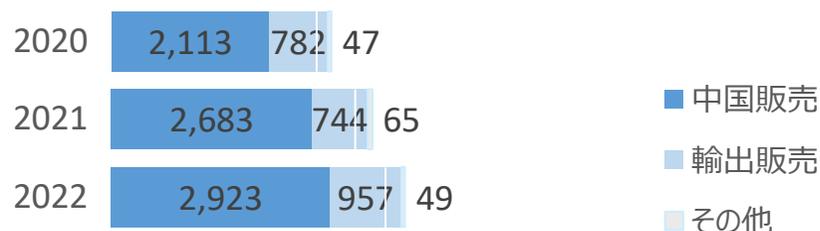
売上推移

コメント

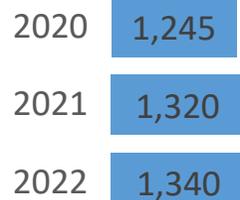
自社販売



海外販売



OEM販売



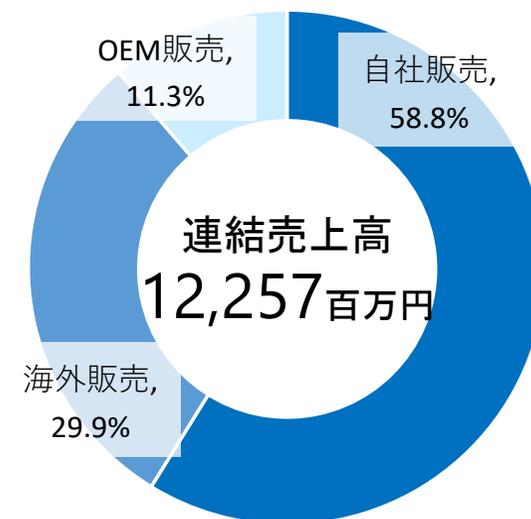
- 自社販売 6,986M（前期比+1.5%）
 - 泌尿器 3,434M（前期比+7.8%）
導尿関連のフォーリトレイキットは上海市ロックダウンで欠品も、フォーリカテーテル単品がこの不足分を上回り増加
尿管留置用ステント、新製品の残尿測定器が好調
 - 消化器 2,365M（前期比△4.9%）
腸閉塞治療のイルウスチューブが増加、一方、胃ろう関連は欠品、大腸用ステントも販売終了となり減少
- 海外販売 3,930M（前期比+12.5%）
 - 中国販売 2,923M（前期比+9.0%）
泌尿器の結石治療製品が内視鏡的術式により減少も、組織採取の生検針、消化器イルウスチューブが堅調な伸び
 - 輸出版売 957M（前期比+28.6%）
コロナ禍の需要回復、欧州MDRの撤退メーカーの代替需要、その他、新興国等の新規受注獲得
- OEM販売 1,340M（前期比+1.5%）
婦人科系製品が回復、その他は全般的に横ばい

売上構成（販売形態別）

- 全ての販売形態が増加
- 特に海外販売は中国販売の為替影響と輸出販売の好調が牽引

	2021	2022	増減額	増減率
総合計	11,698	12,257	+558	+4.8%
自社販売	6,884	6,986	+101	+1.5%
海外販売	3,493	3,930	+437	+12.5%
OEM販売	1,320	1,340	+19	+2.5%

売上構成比



販売費及び一般管理費



■ 情報関連投資の償却費、国内の配送費と研究開発費が増加

(百万円)

	2021	2022	増減額	増減率	
販売費及び一般管理費	4,393	4,636	+243	+5.5%	
人件費	2,702	2,772	+70	△2.6%	国内の人員が僅かに減少 グループ会社の昇給、為替影響
給与手当	2,060	2,088	+28	+1.4%	
退職給付費用	110	109	△1	△1.0%	
法定福利費	402	412	+10	+2.6%	
経費	1,691	1,864	+173	+10.2%	
支払手数料	261	256	△4	△1.8%	
荷造運搬費	261	291	+30	+11.7%	国内配送費の増加
減価償却費	188	302	+114	+61.0%	情報関連投資の償却費

営業利益分析



(百万円)

前期 : 866

売上高の増加

+134

生産の操業度改善

+198

海外販売の為替影響

+224

海外生産・仕入の為替影響

△401

輸入運賃の増加

△45

販管費の増加

△243

当期 : 737

■ 売上高の増加
全ての販売形態が増加

■ 生産の操業度改善
前期のベトナムの操業停止が解消、
生産挽回により操業度が改善

■ 為替影響
4Qの円安進行で売上・原価に影響

■ 輸入運賃
原油高騰による増加

■ 販管費
情報関連投資、国内配送費の増加

經常利益、当期純利益



(百万円)

	2021	2022	増減額	
営業利益	866	737	△129	
営業外収益	156	80	△75	受取利息など、為替差益
営業外費用	13	9	△3	支払利息
經常利益	1,009	809	△200	
特別利益	68	27	△40	大連市奨励金、固定資産売却益
特別損失	112	—	△112	
法人税、 法人税等調整額	305	376	+70	
当期純利益	660	460	△199	

設備投資、研究開発費



■ 設備投資

- 国内は新基幹システムの情報関連投資
- 大連クリエートの生産設備、クリエート国際貿易の移転に伴う投資

(百万円)

	2020	2021	2022	
設備投資額	483	570	440	
(減価償却費)	405	462	600	情報関連投資の償却費負担

■ 研究開発費

- 国内の開発体制強化および生物学的安全性試験の増加
- 大連クリエートの開発体制強化により増加

(百万円)

	2020	2021	2022	
研究開発費	630	785	882	

前中期の振り返り（中期経営計画・2022）



■ 重点施策

重点施策	成果	今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> 次代の長期戦略ビジョン 	主力分野の新製品発売 泌尿器:残尿測定器 フォーリーのタイプ追加 消化器:胃瘻フェイスルPEGキット	<ul style="list-style-type: none"> 新製品の創出 新規事業の探索
<ul style="list-style-type: none"> グローバル事業の推進 	中国販売:イレウス、生検針が堅調 輸出販売:MDRのライセンス維持 新興国の新規受注獲得	東南アジアの新市場開拓は 現地のマーケティング強化
<ul style="list-style-type: none"> 中長期的な会社発展に向けた構造改革 	中長期経営課題の検討 ガバナンス強化として指名報酬委員会、 サステナビリティ委員会の設置	ガバナンス、サステナビリティの 取組み強化

■ 中期経営目標

中期経営目標 (2021/2月の修正計画)
売上高 : 115.40億円
経常利益 : 8.50億円



中期最終年度 2022年の業績
売上高 : 122.57億円
経常利益 : 8.09億円

中期経営計画の概要（中期経営計画・2025）



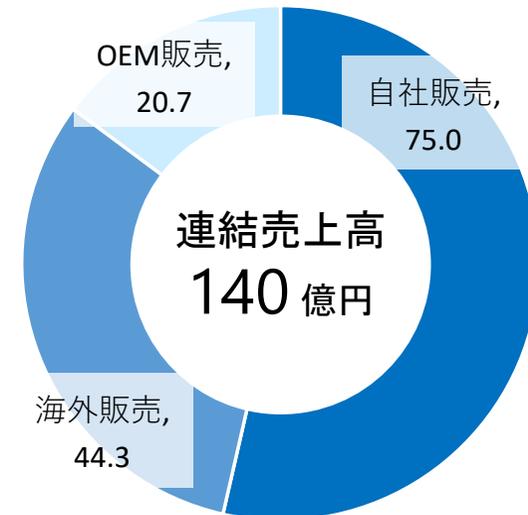
重点施策

1. 国内販売の拡大
自社販売の新製品、価格改定の販売施策
2. 海外の新市場開拓
海外販売体制の強化、東南アジアなど新興国向け製品投入
3. 新製品の自社開発
当社グループ開発部門の連携強化、自社開発品の新製品上市
4. 新規事業の探索
将来的な成長戦略の柱となる新規事業の探索、M&A・アライアンスを含めた事業化の推進
5. 10年後の事業発展に資する将来構想
6. 人材の育成、多様性の確保
7. DX戦略（Digital Transformation）の推進
8. サステナビリティの取組み

中期経営目標

売上高：140億円
経常利益：14億円

販売形態別売上



次期の業績予想



■ 連結業績予想

	2022		2023(予)		増減額	増減率
	実績	売上比	予想	売上比		
売上高	12,257	—	12,537	—	+279	+2.3%
営業利益	737	6.0%	885	7.1%	+147	+20.0%
経常利益	809	6.6%	902	7.2%	+92	+11.5%
当期純利益	460	3.8%	591	4.7%	+130	+28.3%

■ 販売形態別売上

	2022	2023(予)	増減額	増減率
総合計	12,257	12,537	+279	+2.3%
自社販売	6,986	7,060	+73	+1.1%
海外販売	3,930	4,115	+184	+4.7%
OEM販売	1,340	1,362	+21	+1.6%

■ 利益還元の基本方針

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております。

	2022実績	2023(予)
配当金	37.0円 中間 17.0円 期末 20.0円	37.0円 中間 17.0円 期末 20.0円



将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、現時点の見通しに基づくものであり、
予期せぬ事象や経営環境の変化により実際と異なる可能性があります